

2022年1月分総評 杉本真維子

「砂浜の／読んでではない部分を歩く」（五味はこ）神奈川県
浜辺と言葉の繋がりをよく見つけましたね。「浜辺には、言葉があった。浜は言葉でできているのだった」（小池昌代）をふと思い出しました。

「祖母のような／月が川面を撫でていく／／わたしはわたしでいるしかなくて」（さいう）愛知県
この作品に限らず、作者は、物と物の距離、人と人の距離を独自の方法で計測し、そこから詩の言葉を作りだし、この世の本質のようなものに触れていく。

「「ギザギザ」と／子が呼ぶモミジバフウの実／我が家を撫でる／やさしい音霊」（さくらママ♪）兵庫県
「ギザギザ」という濁音の逞しさ、それゆえのあたたかさのなかに、詩を見出している。

「喚いては 他人が怯える／仕草見て 心臓揺れる／これが私か」（モラン）神奈川県
「これが私か」という驚きがいい。言葉や世界のほうから「私」を教えられる。生きるとはそういうことの連続なのだろう。

「ぼほぼほと／傘をめざして落ちてくる／雪の羽音のような溶けかた」（さいう）愛知県
「雪」と「羽音」の出会いがとても新鮮。「雪」がこれまでとは全く別のものに見えてくる。世界を変えるものはまさにこのような鮮やかな意識の変革。

「突然気が狂ったように／駅前で扇など配ってみたい冬」（コンスタンティノーブル小林）東京都
ちょっとした日常のズレによって普段は見えないものが見えてくる。そのきっかけとしての「扇」はどこかの確で面白い。

「街中の青をのこして夜明け前／始発ひとりで靴紐結ぶ」（ベロニカ）神奈川県
「夜明け前」「始発」「靴紐結ぶ」といった言葉から強い決意が受け取れるが、私には「青」がわかるようでわからず、謎となって残った。しかし、その謎が効いていて、作品に綺麗な差し色を与えている。

「友人と背伸びしながら歩きぬく／陸橋の辺へ夕焼けは降る／／助けて」（からすまゑ）神奈川県
まず不意打ちのような「歩きぬく」がいい。さらに一行空けての「助けて」が読み手の動揺を誘う。「夕焼け」の迫力にけおされているのか、それとも、友人とのあいだに何らかの危機があるのか。言葉の繰り出しの唐突さがリアルだ。

「暗闇で目を閉じてみる／暗闇は僕の瞼の内側にある」（まちりこ）埼玉県
外側でなくて「内側」なんですね。内と外の問題のこたえを、こんなに生々しくわが身が持っているとは！

「いずれかの毛皮に／電話鳴っている」(登りびと) 福岡県

よい作品には凝縮された謎がある。たとえば、ここから想像したのは、どこかのワードローブにいくつかの毛皮製品が吊るされているシーン。そのなかの一つがかつて命をもっていた頃、そばには人間の生活があったのかもしれない。そこでは電話が鳴っていたのかもしれない。個人的には胸がしめつけられるような思いがした。

「さん付けで呼ばれる名前／／ていねいに／春がつぼみを暴きはじめる」(さいう) 愛知県
人との出会いの切っ先で起きていることに目を凝らしている。名も知らぬ他人から知人への移行は、知人から友人へと深まるときにはない痛みがおそらく隠れている。未来を構成するもの(期待や恐れ)をこのように表現できる才能に驚嘆した。

「ボタンがなくなった／一個くらい、いいや／ボタンは考えた／いつ迎えにくるのかな」
(桜咲) 千葉県

紛失を落とし主のほうからではなく物のほうから捉える視点自体は新しいわけではないが、「ボタン」というところがいい。軽くて小さくて、それ自体はあまり価値がないようなところがいいと思う。すでにお読みかもしれないが、作者には中原中也の詩「月夜の浜辺」をおすすめしたい。ご自身の作品と地続きに感じられるかもしれない。

「剥き出しの電球は囁む、／照らした人間の外殻を／ちょっぴり。」(蓼原憂) 東京都
たしかに「囁む、」と納得。読点にも意味を込めていることがわかる。光を浴びた瞬間に肌が微かに感じているはずの痛み。それが意識の底のようなところから掘り起こされる。

「ベランダに斧のかたちの影を撒き／花瓶の水で喉を潤す」(北上郷夏) 山梨県
カラスを思い浮かべた。いや、ちがうかもしれないが、あの黒い鳥のかたちについてこのような言葉で語るができるのだという発見があった。

「ブランコに積もった雪を払いつつ／鼻の奥にて熱が生まれる」(松下誠一) 東京都
熱と雪の対比だが、熱の発生場所に「鼻の奥」という奥行きをもってきたところが優れている。この奥行きがそっと未来を秘め、やがて雪を溶かし尽くすような激しい熱や力を予感させる。

「わふふ、って／笑うじいじの側にて／春の陽射しにひたすくるぶし」(さいう) 愛知県
「わふふ」に春の陽射しがこれでもかというほど溢れている。あたたかくて眩しくてまさに光そのもののような一作。

投稿作がだいぶ増えてきました。磨き上げた作品を楽しみにお待ちしております。